

釧路刑務支所



釧路刑務支所の概要



所在地：北海道釧路市

収容定員：321名

収容対象：男子受刑者（主に刑期が10年未満で、犯罪傾向の進んでいない、26歳以上の者）

規模：敷地面積
33,704㎡

沿革

明治18年	7月	釧路国川上郡熊牛村字標茶に釧路集治監として開設
明治34年	9月	釧路分監廃止。網走分監に統合
大正5年	4月	現在地に十勝監獄釧路出張所として設置
大正11年	10月	十勝刑務所釧路支所に改称
大正13年	4月	釧路刑務所に昇格。十勝刑務所が当所の支所に改編
昭和11年	4月	網走刑務所釧路支所に改称
昭和25年	4月	本所に再昇格し、釧路刑務所に改称
昭和56年	11月	現地改築工事終了（昭和54年から3か年）
平成19年	4月	帯広刑務所釧路刑務支所に改称



旧釧路集治監庁舎

施設の特徴

- ・釧路刑務支所では、職業訓練として溶接科を年に2回行っており、アーク溶接・半自動溶接の資格取得を行っています。
- ・同じく、職業訓練としてビジネススキル科を年に4回行っており、マイクロソフトワード及びエクセルの操作方法的習得を行っています。基礎科では機器の電源を入れるところから指導し基本的な操作方法を学び、応用科ではエクセルで関数の使用方法を、特修科ではデータベース等の使用方法を習得しています。



地域と連携した取組

・釧路刑務支所では、平成27年から、釧路市と連携し、社会復帰に向けた指導の一つとして、同市が管理する鶴ヶ岱公園内に設置されている茶室「鶴翔庵」の清掃を“社会貢献作業”として実施し、受刑者に「社会に必要とされている」ことを実感させることで、自己肯定感の醸成に役立てています。

参加者は、仮釈放前指導に編入された受刑者を中心に、逃走の危険性がないか等、適格性を慎重に審査した上で選定しています。



最近のトピック

・釧路刑務支所では、毎年、施設所在地である宮本町内会の夏祭りに参加しています。今年の夏祭りは8月3日に開催されましたが、盆踊り用のやぐらや夜店のテントの設営から始まり、焼き鳥や焼きそばの調理・販売等、若手職員からベテラン職員までが一致団結し、日頃、お世話になっている町内会の皆様に楽しんでいただくために汗を流しました。

また、夏祭り終了後には、町内会長をはじめとする町内会役員の皆様との懇親会も行われ、地域社会に必要とされる刑務所として活動しています。

